



「研修便り」は、高知市立学校教職員研修の成果・内容の共有、教育研究所から発信する情報の周知を目的として、発行していきます。

2年経験者研修 授業基礎研修Ⅰ

令和元年6月3日（月）実施

「資質・能力の育成を目指した授業づくり」

講師：島根県立大学教授・高知県学力向上総括専門官 齊藤 一弥 氏



2年目は巣立ち。自分で餌を採る。何よりも大切なのは「自動詞的に学ぶ」こと。これまでに経験のない能力ベースの授業を創る。自分が小中学校の時に受けた授業体験を再現するのではなく、子ども自身が「何をできるようになったのか」を自覚できるものを目指そう。この改訂がチャンス。3年目までに教師としての基本的資質が決まるので、貪欲に情報を仕入れよう。そして教科書は良質の参考書。「教科書を教え」るのではなく、「教科書で教え」よう。

授業づくりの
充実に向けて

授業の文
脈づくり

授業構成の
検討・発表

講評

Task①

資質・能力ベースの
授業ゴールの明確化
三つの柱の資質・能力
見方・考え方
単元ゴールイメージ

① CHANCE

型に何を加えるか

授業実践の質を高めるきっかけ
授業づくりのイメージ

② CHANGE

自動詞的に学ぶ教師
学びを自ら描くこと
授業づくりの手続きを
身に付ける

③ CHALLENGE

力量向上への関心
4つの視点からの自己改革
授業づくりから刺激と魅力を

Task②

見方・考え方を意識
した授業の文脈を描く

近未来の自分を
イメージし（すごい先生を真似ることに近い）能力ベ
이스の授業を描く。

学びを変えようと
する教師を支える環
境を。「子どもの見
方・考え方を生か
す」がポイント。単
元ごとにゴールを明
確にして学びづくり
の汎用性の確認をし
て全教科でカリキュ
ラムマネジメント。

資質・能力の確認→
見方・考え方の確認→
課題設定・教材教具の
研究→今までの関連性
の順でデザインをする。

Task③

資質・能力ベースの
ゴールと思考対象と
しての問い

『赤本（新教育課程
を活かす能力ベースの
授業づくり）』の第3
章第1節を参考に、ゴ
ールを明確に。

『学習指導要領』の
目標には、資質・能力
や見方・考え方の参考
になることが掲載され
ているので、抽象的な
表現を自分の中で消化
し、授業をデザインし
ていこう。



重要ポイント

学びのゴール＝三つの柱
（知識・理解/思考力・判
断力・表現力等/学びに向
かう力・人間性等）の資
質・能力をはっきりさせる
ためには、対の関係である
学習対象や問い・題材は
ゴールとの整合性が取れて
いるか、着眼点が妥当か検
討する必要がある。難しい
が資質・能力を志向した問
いにする。そのために、両
者を結ぶ見方・考え方を生
かせた学びの文脈（コンテ
クスト）を描こう。



【受講者の感想】

- ・ その教科らしく学ぶということがどういうことなのかコンテキスト（文脈）の生起が大切だということが分かった。数学のきまりを文字で表す一般化、国語での精査・解釈、理科での質的・量的の粒子モデル化は、簡単にまとめ、一般化できるという喜びを味わうことで資質・能力の三本目の「学びに向かう力」を育成することだということまで授業づくりで意識していこうと思う。
- ・ 単元のゴール、身に付けさせたい力から本時を考えることは、昨年から学んできたことだが、「見方・考え方」の解釈ができていないことが分かった。「見方」とは、子どもの着眼点であり、子どもが何に目を付けて考えていくかということだ。「考え方」は、教科ならではの思考・表現ができていくかということだ。これらを教師側が明確にしておき、子どもが「何ができるようになったか」「なぜこのような勉強をするのか」捉えられるようにしなければならぬことが大切だと感じた。そのために、「学び」を書かせ、子どもの思考を見取り、自分の授業方法がよかったのか、毎回振り返っていく必要があると思った。

教育情報化推進支援補助員等の派遣について

2学期以降のICTを活用した授業づくり等のために！

夏季休業中の教育情報化推進支援補助員等派遣をぜひご活用ください。

ICTの活用

- ・ タブレット端末、電子黒板の接続や操作方法をお伝えします。
- ・ 個別の対応から、学年団、校内研修のレベルまでご要望に応じて対応します。
- ・ 短時間でのスポット対応もします。

夏季休業中がチャンスです。



2学期以降の授業づくり

- ・ 効果的な提示資料づくり等、ICTを使った教材作成をお手伝いするとともに、授業イメージを形にします。
- ・ 授業の計画段階から当日に至るまで機器操作のサポートをします。
- ・ 子どもたちの操作補助として授業に入ります。



夏季休業中から取り組みれば、安心です。

「プログラミング教育」を強力サポート！

プログラミング教育を推進する「情報教育コーディネーター」が新たに加わりました。小学校プログラミング教育の進め方に関わる指導・助言を行うため訪問いたします。



学校のICT活用について、何でもご相談ください！ 少人数から対応いたします。

研修支援

- ・ プログラミング教育について
- ・ タブレットPCの活用方法
- ・ 電子黒板操作方法等

授業支援

- ・ プログラミングの授業支援
- ・ ICT機器を使った授業の補助
- ・ 教材作成支援

HP作成・更新

- ・ ホームページの更新をよりスムーズに

ICT環境整備

- ・ 情報機器の接続
- ・ ソフトウェアのインストール

まずは
お電話ください

小さなことでもお気軽に
ご相談ください



＜派遣期間＞令和2年3月27日（金）まで
平日 8：30～17：15

教育情報化推進支援補助員等 派遣の申込みは

☎ 088 (832) 4493

高知市教育研究所 教職員研修班 情報教育担当

お電話をいただきましたら、日程を調整のうえ、派遣日・時間を決定いたします。